

◆令和6年1月～6月事故の状況◆

【事故の特徴】

- ☆労働災害と公衆災害を合わせた事故全体の件数は、16件発生しており過去5年平均に比べ13件減少しています。
- ☆労働災害は10件。建設機械等の事故が増えてきています。
- ☆休業4日以上労働災害は1件発生し、死亡事故はありませんでした。

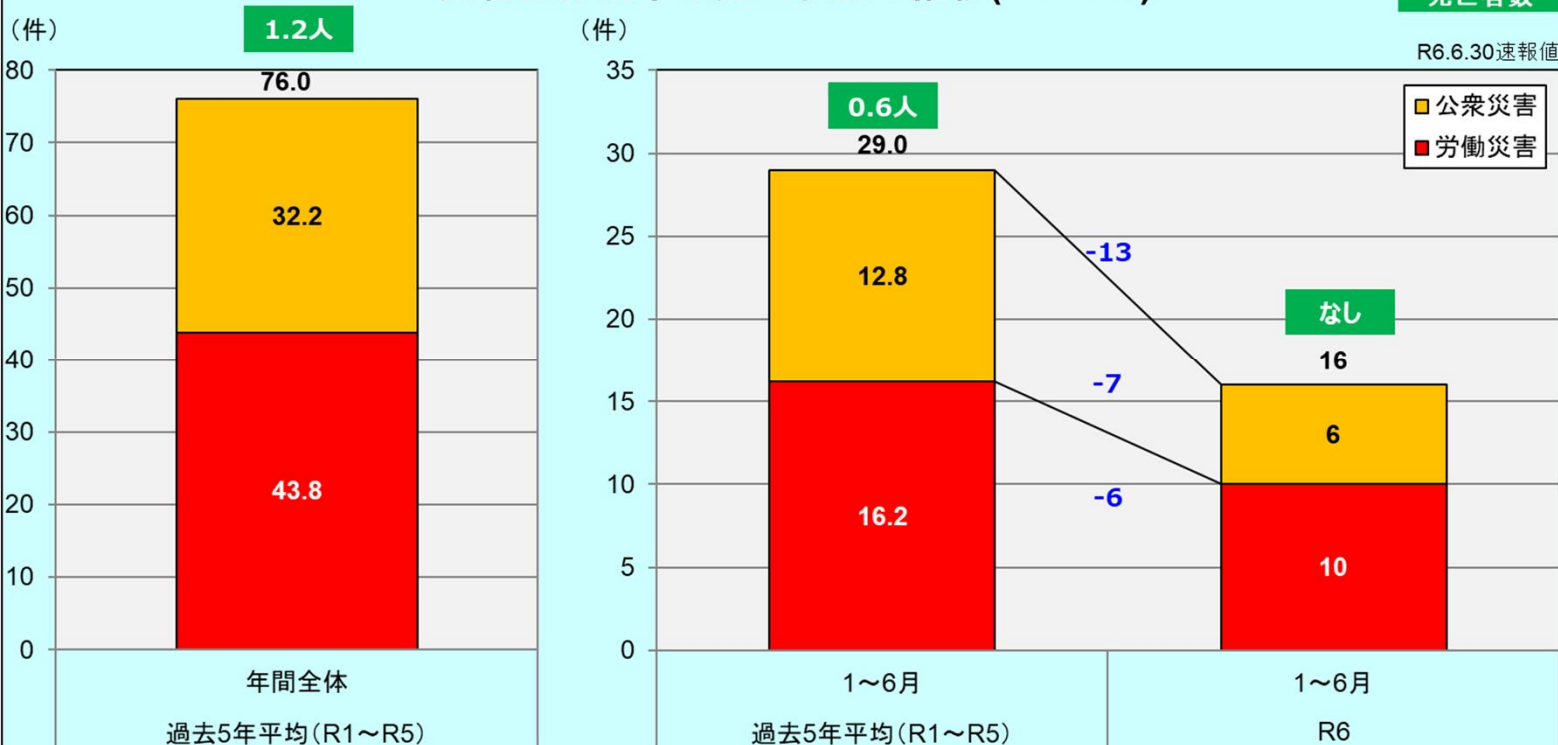
- ・梅雨の時期は曇りや雨の日が多く、蒸し暑い日が続きます。本格的に暑くなる真夏はもちろん、湿度が高い梅雨の時期も熱中症に注意が必要です。
- ・各地でクマの目撃情報が相次いで報道されています。とくに山間部の工事現場はリスクが高いですが、人里でも安心できません。被害にあわないよう対策をご検討ください。

※北陸地方整備局発注の直轄工事を対象としています。
※使用している数値は速報値であるため、今後変更となる可能性があります。

～工事事故の発生状況～

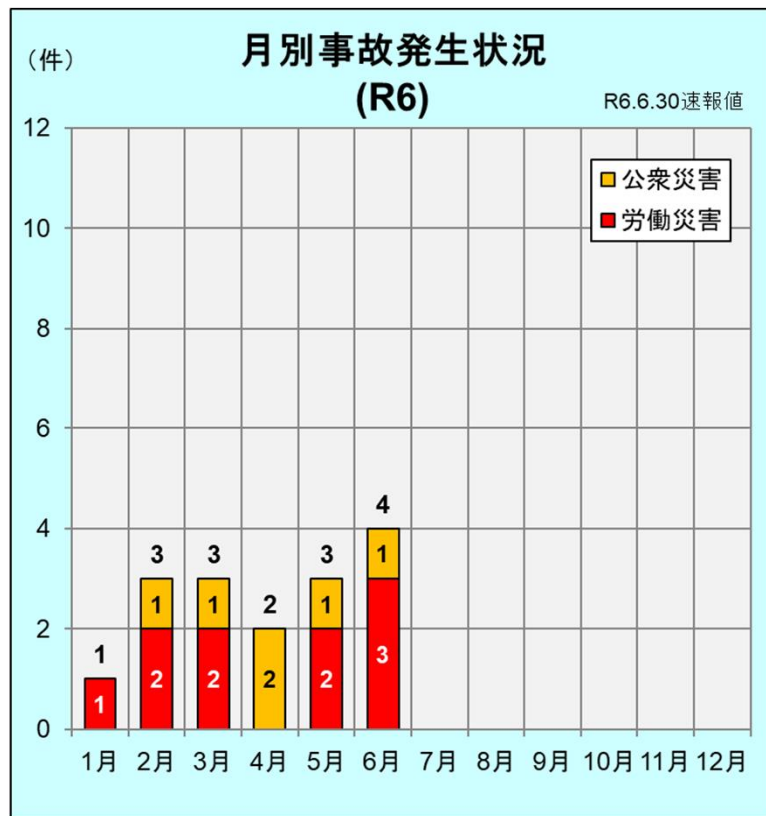
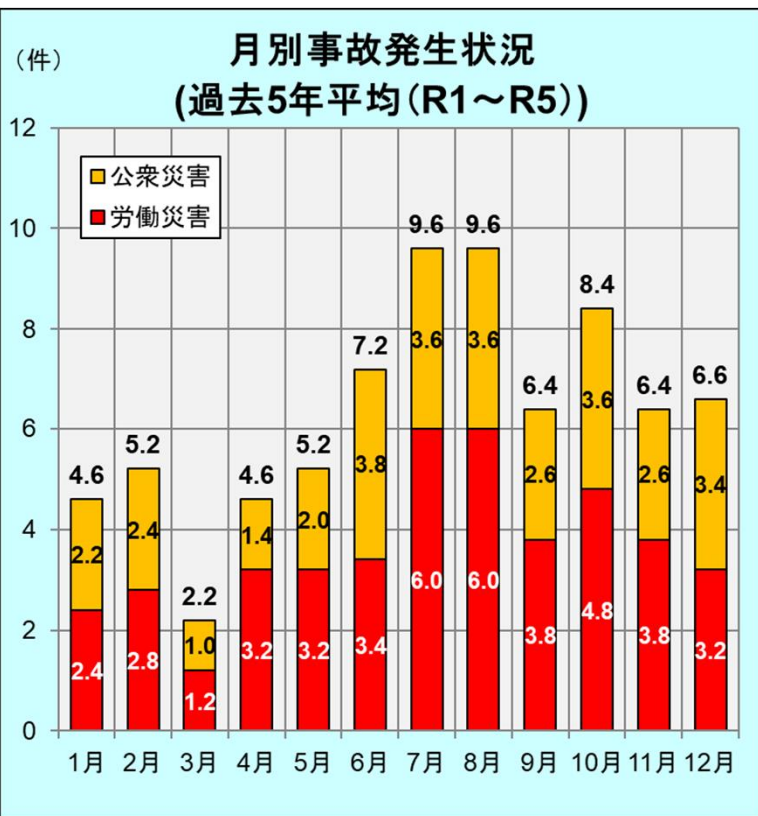
令和6年1月から6月までの事故件数16件で過去5年平均と比較する13件少ない状況です。労働災害は10件、公衆災害は6件発生しており、過去5年平均と比較してともに減少しています。

災害区分別事故発生状況の推移(R1～R6)



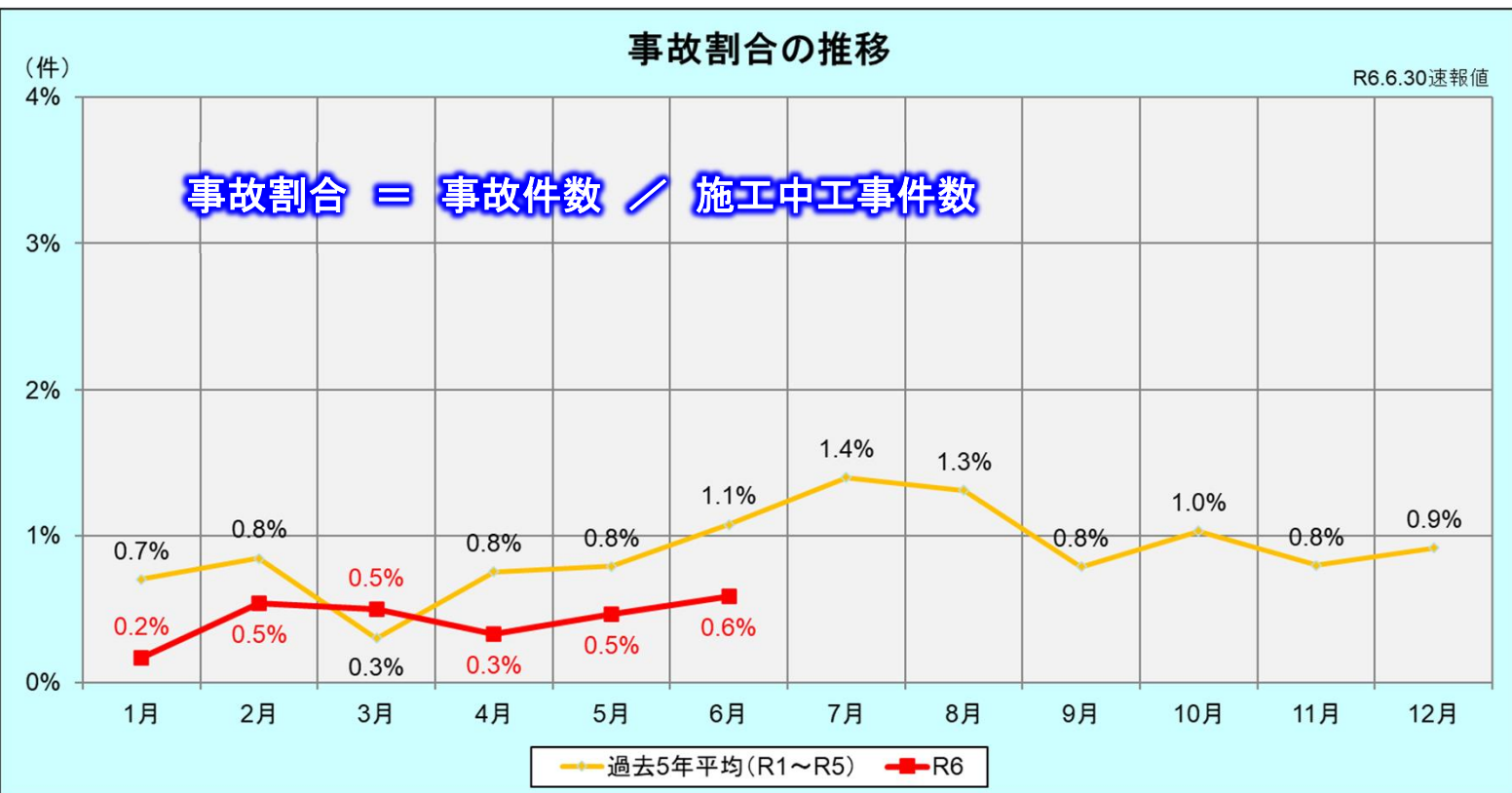
・月別の事故発生件数

過去5年平均と比較すると、3月は増加しているものの他の月は減少しています。



・事故割合

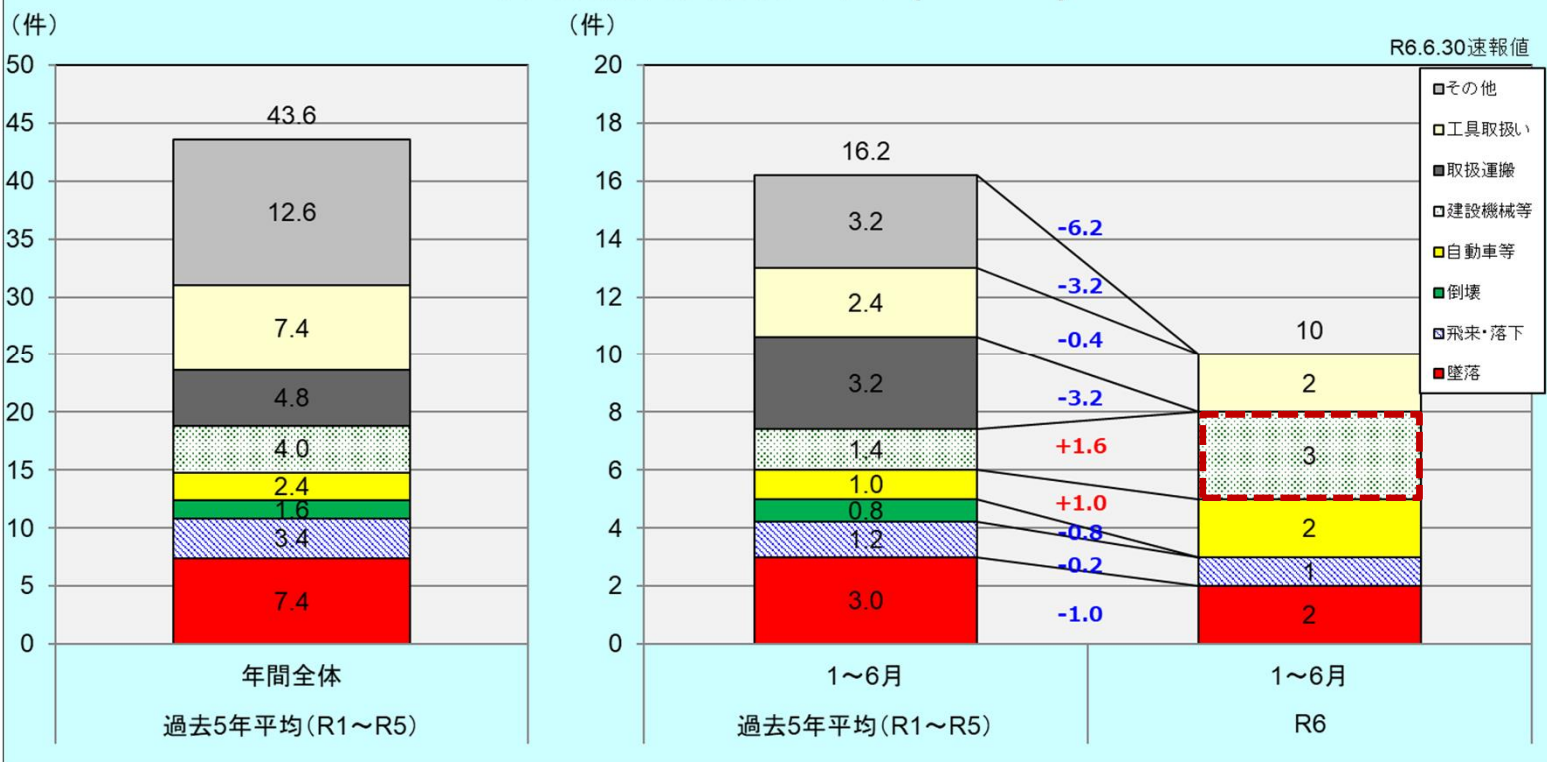
過去5年平均の事故割合の推移と比較すると3月は増加しているものの他の月は減少しています。



・労働災害の原因別事故発生件数

令和6年1月から6月までの労働災害のうち、原因別で多い事故は建設機械等となっており、過去5年平均と比較しても増加しています。

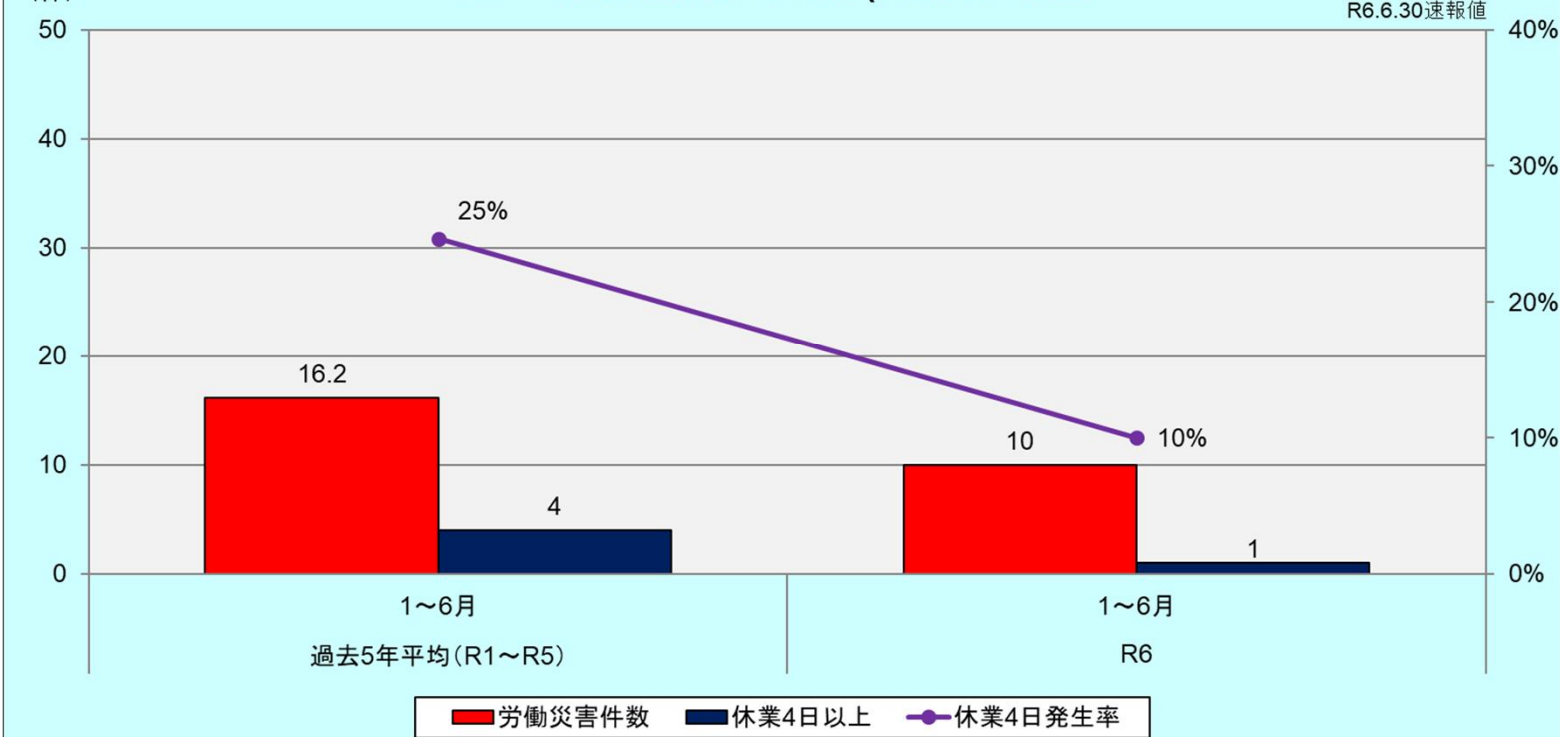
原因別労働災害発生状況(R1～R6)



・休業4日以上事故発生状況

今年1月から6月までの労働災害10件のうち、1件が休業4日以上事故となっています。過去5年平均と比べると重大事故の割合は25%から10%に減少しています。

R1～R6労働災害の推移(休業4日以上)

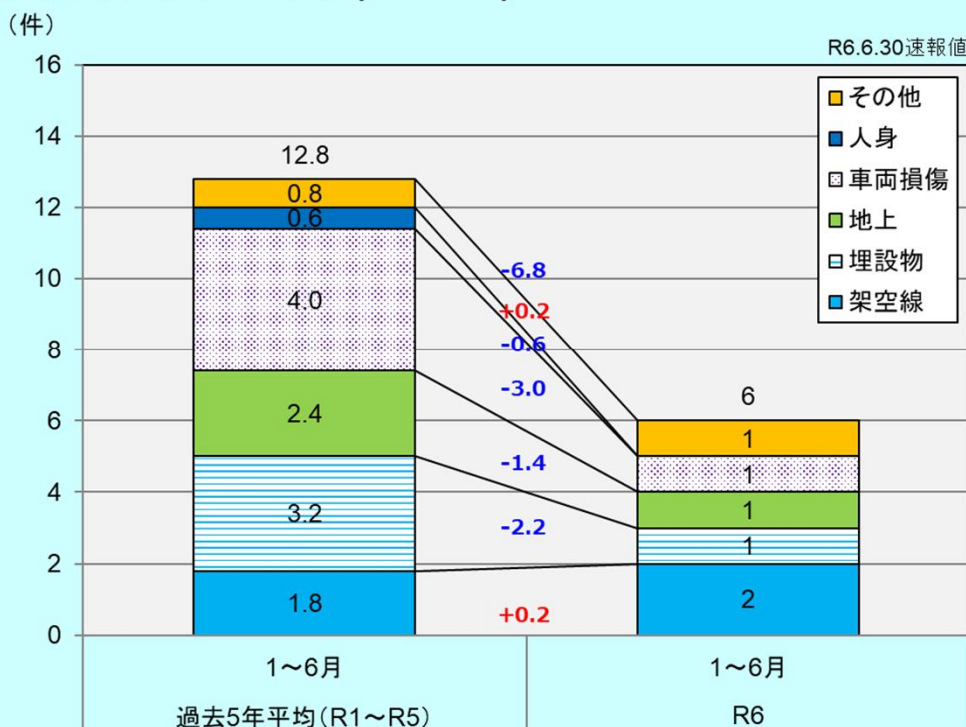
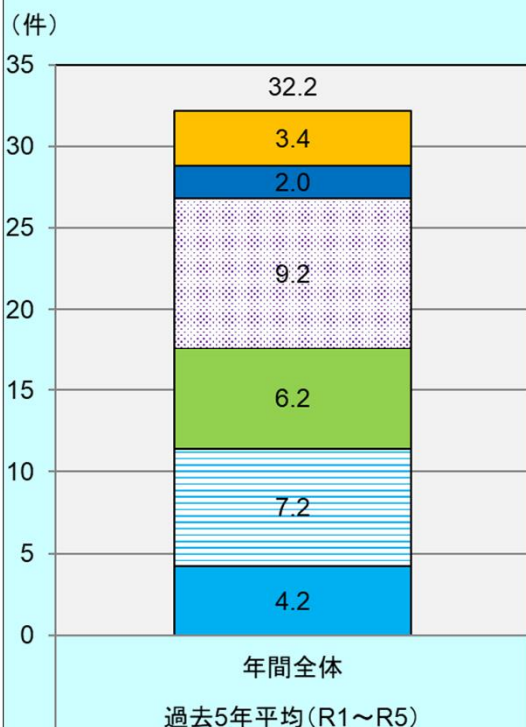
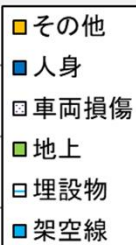


・公衆災害の原因別発生状況

令和6年1月から6月までの公衆災害は過去5年平均と比較すると減少しています。過去5年平均と比べ、車両損傷、埋設物が減少しています。

公衆災害原因別発生状況(R1～R6)

R6.6.30速報値



休業4日以上は建設工事事務データベース（SAS）に登録

- ・建設工事事務データベース（SAS）は、地方整備局・都道府県・政令指定都市・機構等が発注する公共工事で発生した一定規模以上の事故の事故報告データの集合体です。収集されたデータは、建設工事事務対策検討委員会や発注者において、工事事務防止に向けた対策の検討・立案に利用しています。
- ・休業4日以上の建設工事事務事故等を対象に、登録に必要な事故番号、パスワードを発注担当課長等に通知しますので、受注者・発注者は、インターネットを利用して登録（入力）してください。

✓ <https://sas.hrr.mlit.go.jp/>



- ・登録に関する詳細については、ホームページ内の「SASのガイドライン」を参照して下さい。

【問合せ先】 北陸地方整備局 企画部 技術検査官 山崎

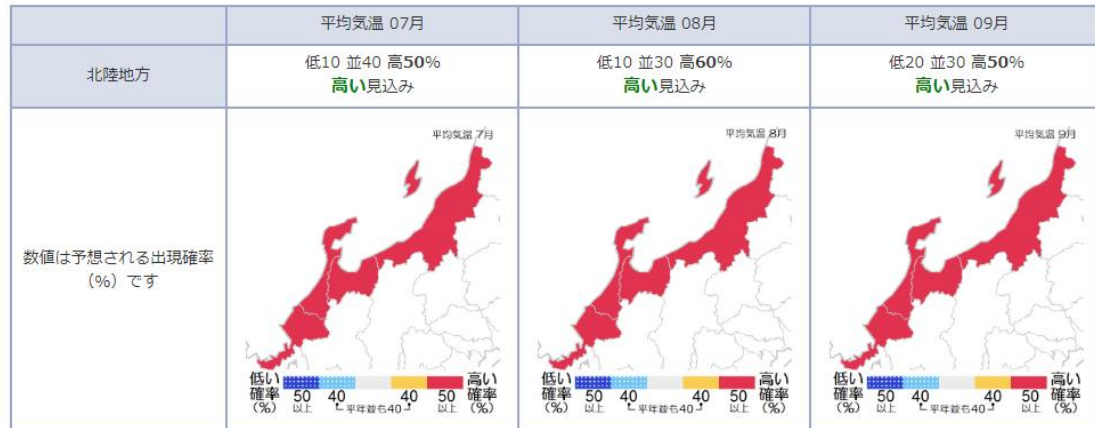
みんなで熱中症対策 知識を持ち行動しよう！



近年、猛暑日が増加するなど、熱中症のリスクが高まっています。
特に、屋外作業が多い建設業は熱中症が多数発生しており、なかには重篤化して死亡に至る事例も多く、令和5年の職場における熱中症による死亡者数31名に対して建設業は12名と全産業の中で最も多く発生しています。

今年9月までの気温の見通しでは高い予報が発表されています。

暑さ指数や熱中症アラート、熱中症予防情報サイト等を参考にしながら、自分の体調の変化に気を付けて行動するとともに、周囲に気を配り呼びかけあって熱中症対策をしましょう。



資料：新潟地方気象台 3か月予報(2024年06月25日発表)の解説

English | 中文繁体 | 中文简体 | 한국어 | 日本語 | 越語 | 英語 | 日本語 | 越語

熱中症予防情報サイト

ホーム 全国の暑さ指数 熱中症特別警戒情報 暑さ指数について 熱中症対策 暑さ指数の取組 民間事業者との取組

熱中症特別警戒情報 (熱中症特別警戒アラート) ・ 熱中症警戒情報 (熱中症警戒アラート)

発表状況と発表履歴 熱中症特別警戒情報とは 熱中症警戒情報とは

熱中症警戒アラート等 メール配信サービス アラート発表をメールでお知らせ

熱中症特別警戒アラート・熱中症警戒アラートの発表状況

7月19日 (金) 5時発表

きょう [7月19日]

あす [7月20日]

14時発表予定

24時間気象

厚生労働省

HOME | 職場で起こる熱中症 | 暑さ指数について | 暑さ指数の取組 | 暑さ指数 | e-learning | リンク集

中小企業の事業主、安全・衛生管理担当者・現場作業員向け
働く人の今すぐ使える熱中症ガイド

●Home > 働く人の今すぐ使える熱中症ガイド

働く人の今すぐ使える熱中症ガイド

目次

- 1. 熱中症から身を守る (P4)
- 2. 危険な状況と対策 (P11)
- 3. 予防法 (P12)
- 4. 取組例 (P13)
- 5. 熱中症の基礎知識 (P14)
- 6. 事業主、安全・衛生管理担当者の方へ (P15)
- 7. まとめ (P16)

本ガイドは、熱中症予防対策に関する検討委員会において、最新の知見を元に作成されたものです。これからの熱中症予防対策にぜひお役立てください。

「熱中症ガイド」PDFダウンロード

全編一括

01 熱中症から身を守る

02 危険な状況と対策

03 予防法

04 取組例

05 熱中症の基礎知識

06 事業主、安全・衛生管理担当者の方へ

07 まとめ

「応急手当」カード (携帯用) ダウンロード

熱中症の応急手当 119

英語版

ベトナム語版

アンケートご協力をお願い

爪押してセルフチェック

尿の色でセルフチェック

昨年（令和5年）の熱中症発生状況

1	6/13	火	8:50	18歳	防草コンクリート打設作業中、作業員が熱っぽいと体調不良を訴えたため、最寄りの医院へ搬送した。
2	6/14	水	9:40	47歳	電線共同溝工事において作業員が倒れたため、病院へ搬送した。
3	7/7	金	10:00	53歳	歩道舗装工及び防護柵工を施工する現場において、歩道内で黄旗にて注意喚起を行っていた交通誘導員から頭痛がするとの申し出があったため、冷房の効いた事務所で休ませたうえ、病院へ搬送した。
4	7/21	金	15:10	59歳	水路BOXの地盤改良工事において、ボーリングマシンにて薬液注入を行っていた作業員が熱中症症状（けいれん、発汗）で倒れたため、救急車で病院へ搬送した。
5	8/2	水	15:40	60歳	作業員が除草・剪定作業の休憩中に具合が悪いとの申出があり、班長に連れられて病院へ搬送した。
6	8/2	水	16:40	55歳	側溝清掃作業終了後、規制解除及び片付けの最中に作業員が足のしびれを訴えたため、病院へ搬送した。
7	8/3	木	12:30	68歳	橋脚フーチング部の打設を行っていたが、本人から職長に立ちくらみ及び目の前が真っ白になっているとの申出があった。直ちに冷房の効いた休憩所へ移動させ、救急車により病院へ搬送した。
8	8/8	火	10:00	31歳	現場での準備作業中、作業員が体調不良を訴えたため、水分補給と冷却処置を行ったうえ安静状態で休憩させた。
9	8/9	水	11:00	45歳	現場で作業員が体のだるさを訴えたため、水分補給や体の冷却をしながら休憩所で休ませていたが、足がつる症状が出始めたため、救急車で病院へ搬送した。
10	8/21	月	13:15	41歳	猛禽類の現地調査中に体調不良（足の痺れが発生し自力歩行不可）を訴え、ドクターヘリで病院に搬送した。
11	8/22	火	16:30	51歳	土工の現場作業終了後に右手の痺れを訴え、病院に搬送した。
12	8/22	火	17:15	65歳	現場作業終了後の、現場事務所でミーティング及び体調確認を行った際に、体調不良を訴えたため病院に搬送した
13	8/25	金	15:00	57歳	通行車両の誘導員が倒れ、救急車で病院に搬送
14	8/30	水	10:00	38歳	ボーリング作業のオペレータが痙攣等の熱中症症状を発症し、病院へ搬送した。
15	9/11	月	10:40	23歳	現地調査中に気分が悪くなり、現地で休憩したが体調が戻らず病院へ搬送した。

北陸地整管内直轄工事・業務（港湾除く）

発生時間

～ 9:59 : 2名

10:00 ～11:59 : 6名

12:00 ～14:59 : 2名

15:00 ～ : 6名

18歳 : 1名 20歳代 : 1名

30歳代 : 2名 40歳代 : 3名

50歳代 : 5名 60歳代 : 3名

